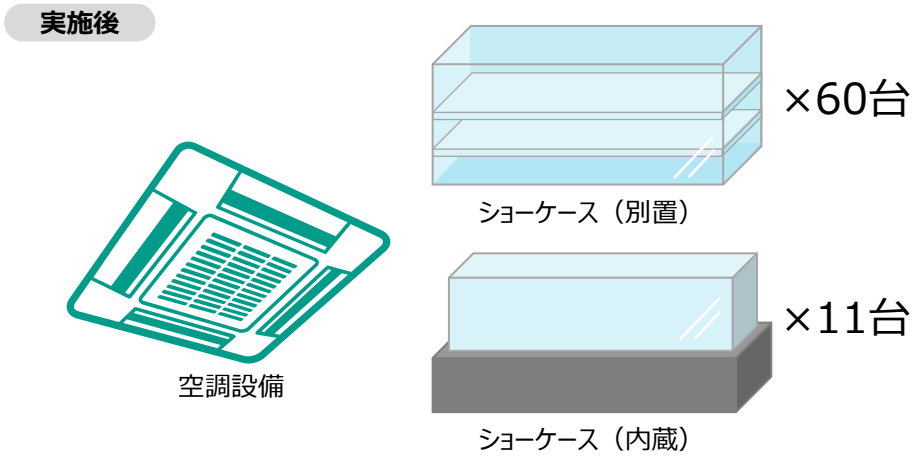
4.1 工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業〈設備更新補助事業〉

③最新空調・冷凍冷蔵設備等の導入で作業効率化と顧客満足向上を実現

事業概要

事業者概要	事業者名	株式会社コープ武生 （JA三井リース株式会社）
	業種	商業
事業所	所在地	福井県
	総延床面積	2,407m^2
補助金額	補助金額	約4,784万円
	補助率	1/3
主な導入設備	従前設備	空調設備、冷凍機、プレハブ冷凍冷蔵庫9室
	導入設備	空調設備、冷凍機、プレハブ冷凍冷蔵庫9室、ショーケース（別置）60台、ショーケース（内蔵）11台
事業期間	稼働日	2023年11月
区分		更新
特長		旧設備の老朽化のため、新しい空調設備及び冷凍冷蔵設備を導入したことにより、霜がつきにくくなり除霜作業が軽減され、業務効率が向上した。また、フロンガス漏洩が大幅に減少し、環境負荷が軽減された。さらに、取扱商品の見直しや店内環境の改善を通じて顧客満足度が向上し、店舗全体の魅力が向上した。

システム図

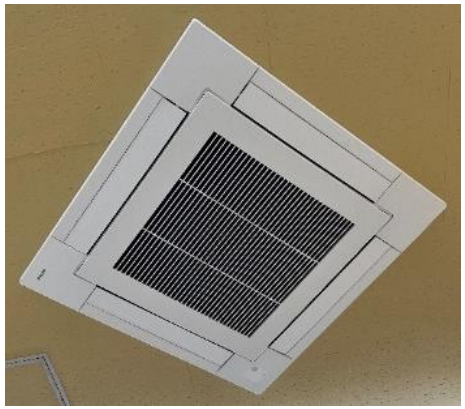


写真

冷凍冷蔵設備



空調設備



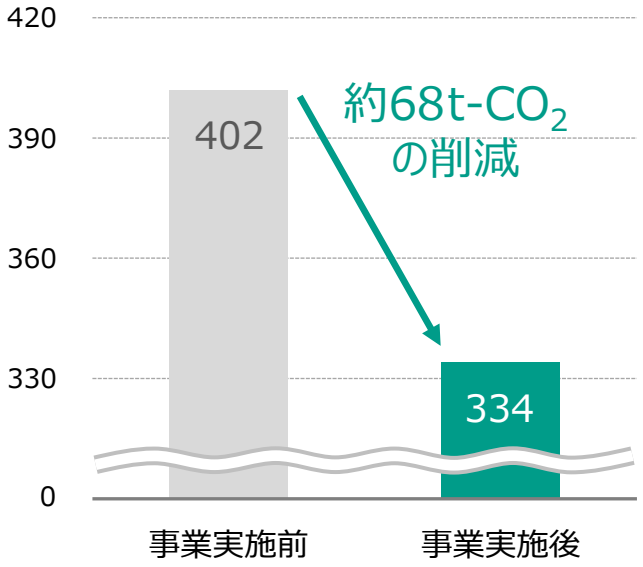
③最新空調・冷凍冷蔵設備等の導入で作業効率化と顧客満足向上を実現

事業の効果

エネルギーコスト削減額		約341万円／年
投資回収年数	補助あり	約22年
	補助なし	約32年

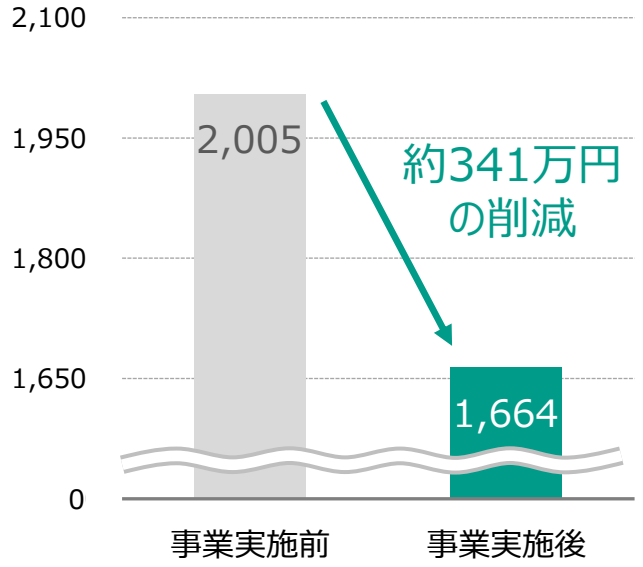
CO_2削減量	約68t-CO_2／年
CO_2削減コスト	76,900円／t-CO_2

CO_2排出量（t-CO_2／年）



店舗リニューアルに伴う営業時間延長により、事業実施前と比較して空調や冷凍設備の稼働は増加したが、エネルギー消費量は下がり、年間68tCO_2排出量が削減された。

エネルギーコスト（万円／年）



店舗リニューアルに伴い営業時間が延長されたにも拘らず、高効率な設備を導入したことで事業実施前と比較して年間約341万円のエネルギーコストが削減された。

【脚注】
※ ここに示す事業の効果は、電力単価：21.7円／kWh、（出典：電力・ガス取引監視等委員会HP）を用いて試算したものである。

③最新空調・冷凍冷蔵設備等の導入で作業効率化と顧客満足向上を実現

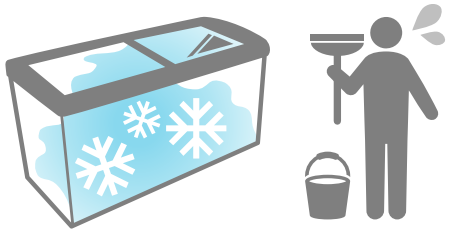
事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■ **「新しい空調設備、冷凍機、ショーケース等の導入」によって、CO_2削減以外に、以下のような副次的効果があった。**

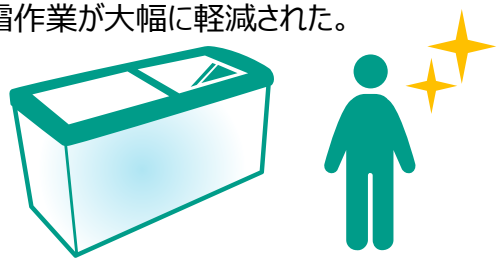
- 冷凍冷蔵設備が最新のものになり霜がつきにくくなったため、除霜に係る作業が軽減された。
- フロンガス漏洩が大幅に減少（昨年R22の漏洩量81kg→更新後0kg）し、環境負荷が軽減された。
- 店内環境の改善により、顧客満足度の向上にも寄与した。

除霜業務の軽減

実施前 冷凍冷蔵設備の老朽のため、霜が付きやすかった。



実施後 最新の冷凍冷蔵設備の導入により、除霜作業が大幅に軽減された。



最新の冷凍冷蔵設備の導入により、除霜作業が大幅に軽減された。

店内環境改善、顧客満足度向上

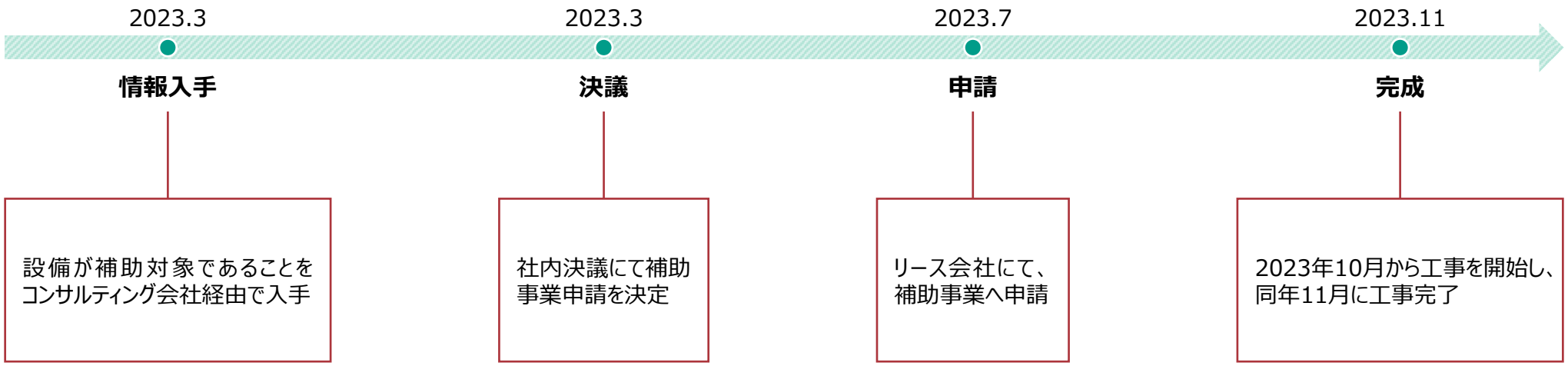
実施前 最新の設備の導入により、店内環境が改善され、顧客満足度が向上した。



取扱商品の見直しや店内環境の改善により、顧客満足度の向上に寄与した。

③最新空調・冷凍冷蔵設備等の導入で作業効率化と顧客満足向上を実現

事業の経緯／今後の予定



事業者の声

西村 尚能
株式会社コープ武生　総務部総務課　課長

- 店舗のリニューアルと併せて、空調設備・冷凍冷蔵設備の更新を行うことができました。
- 令和5年度の取組み以降も当該設備の運用改善の実施及び経年劣化した設備更新を計画的に推進していくとともに、設定した削減目標達成に尽力したいと思います。
- 今後も国の環境方針に沿う事業活動を続けていきながら、補助金の活用検討をさせていただきます。